

情報通信審議会 情報通信技術分科会  
新世代モバイル通信システム委員会 ローカル5G検討作業班（第22回）

1 日時

令和6年4月11日（木）10:00~10:25

2 場所

Web会議による開催

3 出席者（敬称略）

（1）構成員

三瓶 政一（主任）、山尾 泰（主任代理）、青山 明雄、飯岡 俊範、  
市川 泰史、岩本 裕真、太田 龍治、大橋 功、大村 好則、  
大屋 靖男（代理 旦代 智哉）、小竹 信幸、鴨井 好正、木村 亮太、  
河野 宇博、白石 成人、外山 隆行、武田 一樹、玉木 剛、  
中村 光則、生田目 瑛子、西島 英記、野崎 健、福本 史郎、  
細川 貴史、本多 美雄、松波 聖文、松村 武、渡邊 泰治

（2）関係者

古川 憲志（ドコモ・テクノロジー）

（3）総務省（事務局）

小川 裕之（移動通信課長）、平野 裕基（移動通信課 課長補佐）、  
高木 世紀（移動通信課 係長）、森下 亮司（移動通信課 係員）

4 議題

（1）委員会報告案について

事務局から資料 22-1 の概要資料に基づき、委員会報告案の内容について説明があった。

山尾主任代理：今回の資料は委員会における報告等に使用されるかと思うので、気付いた点を指摘させていただく。報告案概要の P12 の表中の空中線高に「※」が振られているが、その参照先が見当たらない。参照先はおそらく表下部の備考の「2」に当たるかと思うが、番号と紐付いていないように見えるので、適宜修正いただければと思う。

事務局：ご指摘のとおり修正させていただく。

三瓶主任：同じ表中の備考 1 はどこに紐付いているのか。

事務局：備考 1 は表全体を指している注釈となる。これまでの委員会報告から検討パラメータを引用している旨の注釈となる。

三瓶主任：備考と書かれていると、どこかに参照先があるのではないかと見てしまう。備考 1 が表全体の注釈を指すのであれば、その旨が分かるように修正してはどうか。

事務局：ご指摘のとおり修正させていただく。

三瓶主任：報告概要案の P15 の注釈は何を指しているのか。

事務局：表中に「※」を振っているところがあり、該当箇所の注釈となる。

三瓶主任：報告概要案の P14 の注釈は何を指しているか。

事務局：表全体を指している注釈となる。こちらも同様に、その旨が分かるように修正させていただく。

福本構成員：報告案本文の P126 の陸上移動中継局の周波数のレンジが 4.6GHz～4.9GHz と記載されているが、こちらは 4.8GHz～4.9GHz の誤りではないかと思われる。過去の検討では、陸上移動中継局は屋外利用のみ想定されているものとされており、昨年夏に答申された一部答申においても 4.8GHz～4.9GHz という条件となっていたかと思う。適宜修正いただければと考えている。

事務局：技術的条件については過去の情報通信審議会でもまとめられたものと基本的には共通となっており、記載の考え方としては一般則上まとめた上で、脚注 35 において、海上利用の場合は「屋外利用を前提とするため、使用可能な周波数帯は 4.8GHz～4.9GHz に限られる点に留意すること。」と付記している。制度整備の際には使える帯域、使えない帯域について、総務省において検討させていただくことになると考えている。

福本構成員：報告書の一貫性の観点からも、過去の報告書をご確認いただき、技術的条件が同一となることを確認いただきたい。

## (2) その他の連絡

主任から、委員会報告案の内容について、追加の修正意見等ある場合には、令和 6 年 4 月 18 日（木）までに事務局に連絡いただきたい旨及び新世代モバイル通信システム委員会において委員会報告案の報告を行う予定である旨の連絡があり、報告内容について微修正等がある場合、その判断は主任に一任されることになった。

また、事務局から次回の新世代モバイル通信システム委員会は4月下旬に予定されており、作業班で検討した委員会報告案について報告される予定である旨、連絡があった。